

さくら



令和5年12月21日(木)

冬休みを有意義に



先日、繁華街に出る機会がありました。人波に流されながら商店街を進んでいましたが、船酔いならぬ人酔いしそうな感覚を覚え大通りに出ました。

街路樹が鮮やかなイルミネーションに彩られ、少しばかり目を楽しませてくれました。都会の喧噪(けんそう)と殺伐(さつばつ)とした世相を忘れ、寒風に心地よさを感じるひとときでした。

あと10日で大晦日(おみそか)を迎えます。振り返ってみると、今年多くの出来事が思い起こされます。皆さんにも、さまざまな出来事があったでしょう。

古来、日本では、大晦日は旧年と新年の区切りの日であり、その夜を「大晦(おおつごもり)」「除夜」「年越し」などと言い、新年の年神(としがみ)様を寝ないで待つ日とされていました。神社の境内では火が焚(た)かれ、人々の罪などを清める大祓え(おおはらえ)が行われます。寺院では、年をまたいで人々の煩惱(ほんのう)を打ち払う百八回の除夜の鐘が撞(う)かれます

大晦日は1年間を振り返るとともに、新たに迎える年に向けて期待を高めていく日。自分を支えてくれた人々への感謝を、あらためてかみしめる日。そして、何ができる、何ができなかったのかを振り返る日でもあります。このような気持ちで、家族とともに本年のしめくくりをしてください。

そして、清らかな心で迎える新年。「一年の計は元旦にあり」という言葉どおりのスタートを切りましょう。これは、一年の計画は元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということです。

年が明ければ令和6年辰年。皆さんはどのような計画を立てることでしょうか。明日から18日間の冬休みが始まります。一日一日を大切に、有意義に過ごしてください。1月9日には、皆さんの元気な笑顔を見られることを心待ちにしています。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

